

宇治拾遺物語

児のそら寝

教科書
p.36
p.37

1 知 次の語の読みを発音通りに片仮名で答えよ。

〈各1点〉

母音が重なる箇所			語中語末の八行音		
(12) けうくん	(11) かうし	(10) あうむ	(3) にほひ	(2) かへる	(1) こよひ
「くわ」「ぐわ」			ワ行音		
(15) にぐわつ	(14) くわんねん	(13) くわじ	(6) をんな	(5) こゑ	(4) ある
			助詞・助動詞「む」		
			(9) なむ	(8) けむ	(7) らむ

2 知 次の「いろは歌」の空欄に適切な語句を入れよ。(上段には歴史的仮名遣いで平

仮名を、下段には適当な漢字または平仮名を入れる)

〈各1点〉

いろはにほへ ^a 」	ちりぬるを	色は匂へど	散りぬるを
わかよたれそ	つねならむ	我 ^d 」	世誰ぞ 常ならむ
う ^b 」	のおくやま けふこえて	有為の奥山	越えて
あさきゆめみし	」	浅き夢見じ	酔ひもせず
	」		酔ひもせず

重要語の確認

1 知 次の語句の本文中での意味として最も適

当なものを、それぞれ選べ。

〈各2点〉

- | | |
|-----------------|-------------|
| (1) つれづれ(三六・一) | ア 連れ立つさま |
| (2) 伊 退屈なさま | ウ 物思いにふけるさま |
| (3) さりとて(三六・二) | ア そうかといって |
| (4) イ 去ったとしても | ウ 避けがたくても |
| (5) おどろかす(三六・五) | ア 起こす |
| (6) イ びっくりさせる | ウ はっとさせる |
| (7) わびし(三七・三) | ア みすばらしい |
| (8) イ 心細い | ウ 困った |

2 知 次の空欄に入るように、傍線部の意味を答えよ。

〈各2点〉

- | | | |
|--------------------------|--------------------------------------|------------------------|
| (1) わろかりなむと思ひて、(三六・三) | 「 <u>きつと</u> 」 | 「 <u>だろう</u> 」と思って、 |
| (2) いま一声呼ばれていらへむと、(三七・一) | もう一声呼ばれてから「 <u>念じて寝たるほどに</u> 、(三七・一) | 「 <u>すべなくて</u> 、(三七・四) |
| (3) 「 <u>て寝ているうちに</u> 、 | | 「 <u>て</u> 、 |

3 知 次の漢字の読みを現代仮名遣いで答えよ。

〈各2点〉

- | | |
|------------------------|--------------------|
| (1) 児(三六・一) | 「 <u>無期</u> (三七・四) |
| (2) 「 <u>無期</u> (三七・四) | |

文法の確認

第一段落

文脈を理解する

1 知 「かいもちひせむ」(三六・一)の「せむ」の現代語訳として最も適当なものを、次から選べ。

- ア 作らない イ 作るだろうか
ウ 作るべきだ エ 作ろう

2 思 児が「寝たるよし」(三六・三)をした理由を述べている箇所を本文中から二十五字以内で探し、最初の五字を抜き出せ。(5点)

3 * 思 次の傍線部の語句の主語が「児」でないものはどれか。答えよ。

- ア うれしとは思へども(三六・六)
イ 待ちけるかともぞ思ふとて(三七・一)
ウ あな、わびしと思ひて(三七・三)
エ 思ひ寝に聞けば(三七・三)

4 知 第二段落の本文中から形容詞をすべて抜き出し、終止形で答えよ。

(完答5点)

5 思 「ただ一度にいらへむも、待ちけるかともぞ思ふとて」(三六・六)は児の気持ちであるが、この気持ちはこの後どのような行動となって表れているか。本文中から七字以内で抜き出せ。(5点)

古文の世界を楽しむ ● 宇治拾遺物語 児のそら寝

第二段落

6 知 「な起こしたてまつりそ」(三七・二)を現代語訳せよ。

(6点)

段落構成をまとめる

7 思 次の空欄に適当な言葉を入れよ。

(各4点)

第二段落	第一段落
児の失敗	児の寝たふり
期待通り、僧が起きてくれたのでうれしく思ったが、待ち構えていたとばかりに^d「^eをするのも気が引けるので、もう一度呼ばれてから起きようと思つて我慢して寝ているうちに、「寝ているので起こすな」という声がし、僧たちがむしやむしやと食べる。^e」 「^fがするので、しかたなく^f」 「^dをしたから、僧たちはたいそう笑った。」	昔、^a「^aに児がいた。僧たちが宵の退屈さに^b」 「^cを作ると聞いたが、物欲しそうに待つのもよくないと思い、^c」 「^dをしていると、はやくも作り上げた様子で、僧たちが騒ぎ合っている。」

主題を考える

8 思 「児」の人柄の説明として最も適当なものを、次から選べ。

(5点)

- ア 変に気をまわしすぎるところがある。
イ 子供らしいかわいらしさがまったくない。
ウ 食べ物の好き嫌いがはっきりしている。
エ 大人を笑わせるのがとても上手である。